

令和6年度

幼稚園だより 12月号

文京区立小日向台町幼稚園

「さくら・すみれ ゆうえんち」が教えてくれたこと

園長 小岩井 聡

今年は秋が忘れられたかのように、急に冬がやってきました。

しかし、子どもたちは、先日開催した「ジャイアンツと遊ぼう」でのジャイアンツ公式チアガール「ヴィーナス」の刺激を受けて、テラスでダンスをしたり、園庭で靴鬼をしたり、転がしドッジボールをしたりと、寒さを感じさせないくらいパワフルに遊んでいます。

さて、運動会が終わったころ、年長組は東京ドームシティ・アトラクションズ「ラクーン」に遠足に行ってきました。そして、その楽しかった思い出を形にして、年長児が、「さくら・すみれゆうえんち」を数日後にオープンしました。

グループでアトラクションの設計図を作り、実際にたんぼぼ組や年中組が乗れるように、何を使って、どのように作るかを考えて取り組んでいました。

メリーゴーランド、コーヒーカップ、フラッシュラッシュ、レーザーミッションというアトラクションを子どもたちなりに工夫をして、再現していました。もちろん、そこには、昨年自分たちが年中組の時に遊ばせてもらった経験もしっかりと生かされていました。

完成後は、年中組、年少組を遊園地に招待して、自分たちが経験した楽しさを味わわせてあげていました。もちろん、子どもだけでなく、大人が乗っても大丈夫なアトラクションですから、かくいう私や他の教職員も楽しく遊ばせてもらいました。

盛り上がった「さくら・すみれゆうえんち」ですが、単に大きな製作をみんなでして、遊んで、楽しかったということではありません。そこには、子どもたちにとっての大きな学びがあります。

例えば、みんなで作ることから、「協同性」「言葉による伝え合い」は必要な能力ですし、「豊かな感性と表現」「数量・図形・文字等への関心・感覚」「思考力」「道徳性・規範意識」また、小さな子たちと関わる中では、「社会生活との関わり」なども必要です。そしてなにより「健康な心と体」と「自立心」がなければ、学年全体でのこういった取り組みは成立しません。

これらはすべて「幼児の終わりまでに育ててほしい姿」に示されています。そういった一つ一つの学びをベースに、「知識・技能の基礎」「思考力・判断力・表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」という小学校以降にもつながる資質・能力の3つの柱の基礎を育てているのです。年長にとっては、残り少ない幼稚園での生活の中でしっかりと身に付けて、小学校への就学につなげていってほしいと願っています。



今年も残すところ、あとひと月。今年も、本園の教育活動にご協力いただきました保護者、地域の皆様感謝いたします。来年も子どもたちの「笑顔と元気が輝く小日向台町幼稚園」となりますよう、教職員一同邁進してまいりますので、引き続きご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

最後になりますが、皆様、どうぞよいお年をお迎えください。